

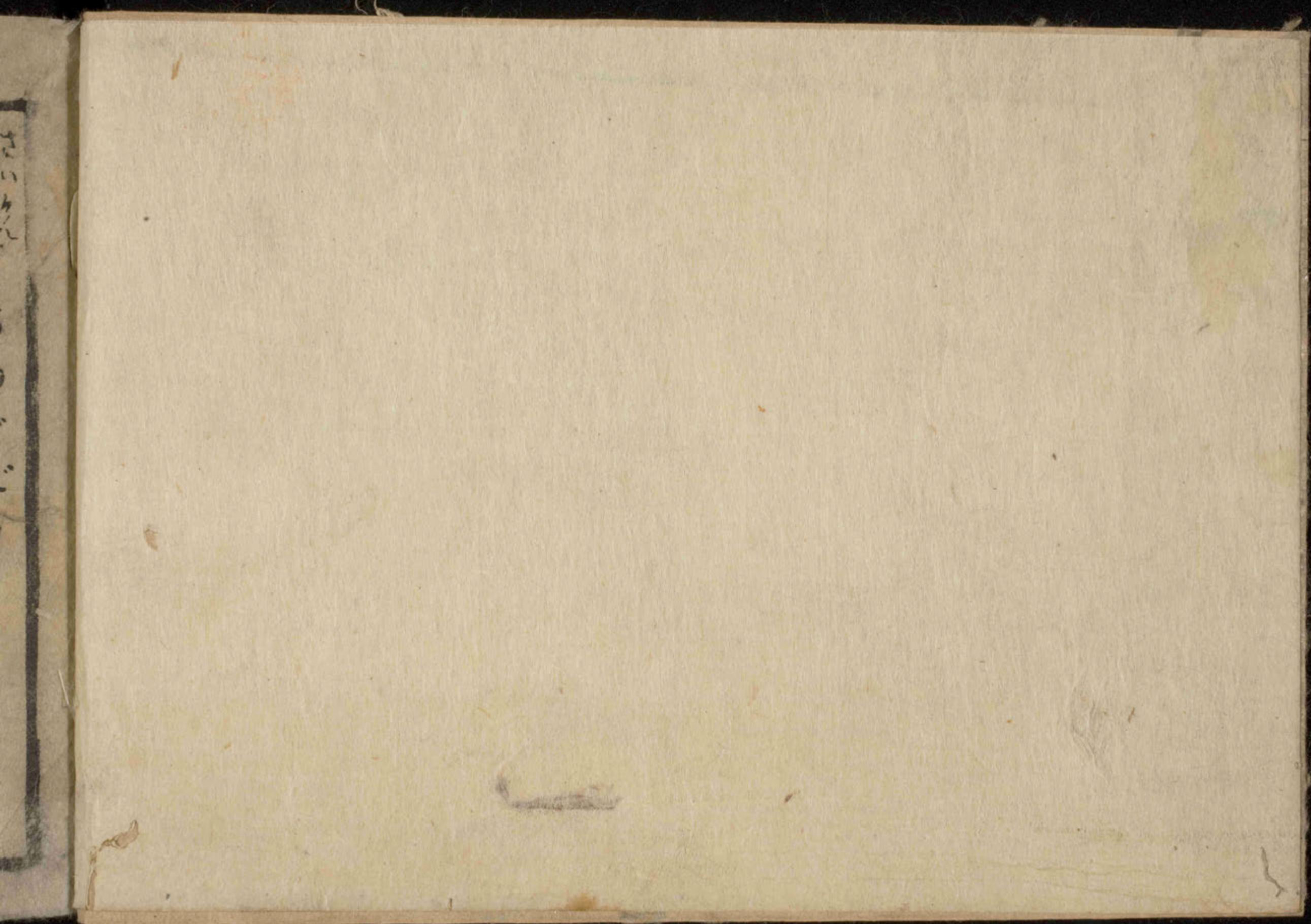
卷一

卷一

卷一

卷一

卷一



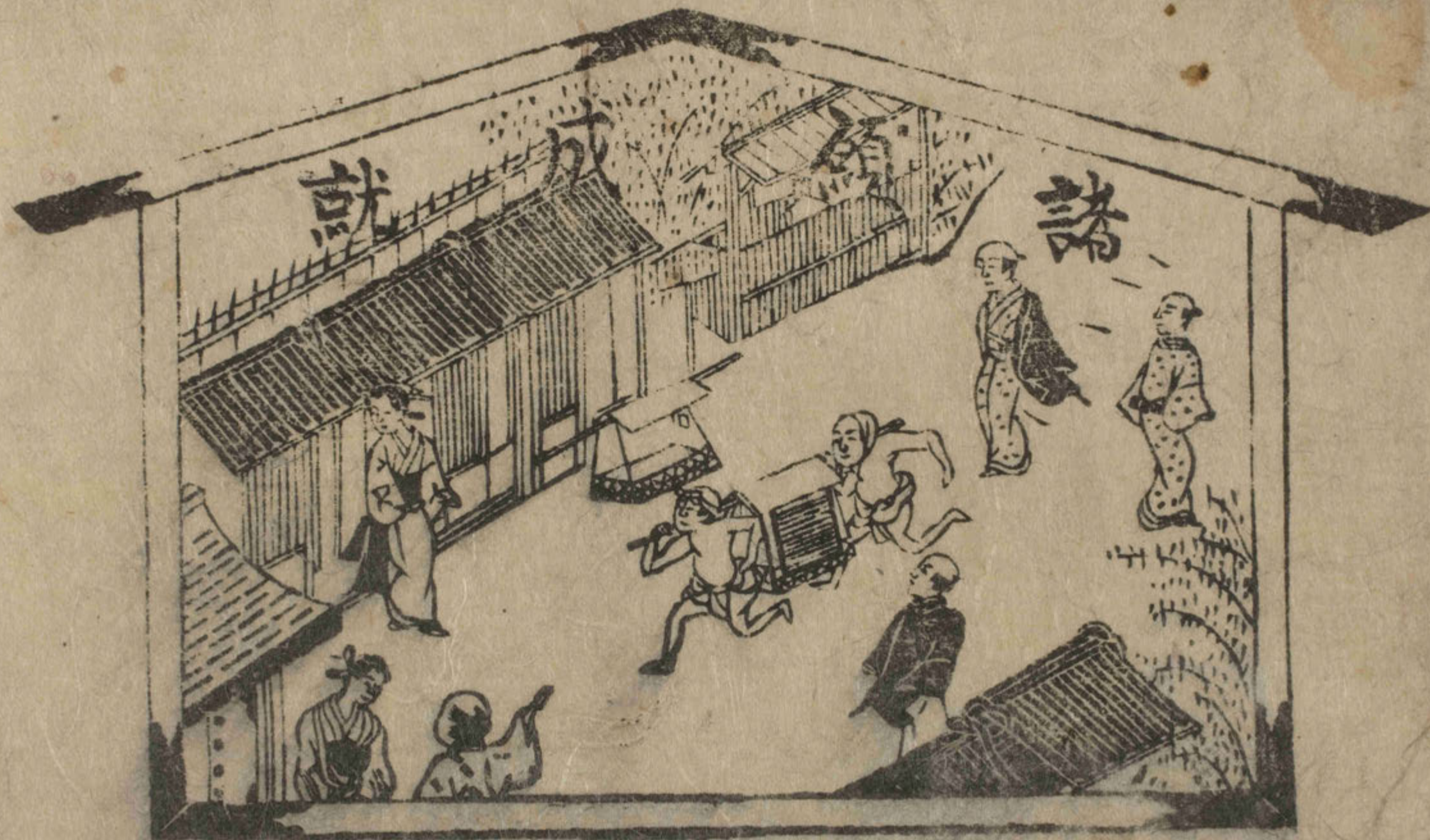


細見 喫安

うのどごり
山来門

うきこれの鳥乃ろをかりにうん
 乳なうはのうはなやうもさめ
 う留にうをむくうはのまきうぐ
 りとゆてあろ花の秋はうげう
 やるにこほるもろきあいにしじ
 うきをばま
 三葉一花乃煙競もうと
 字にかよふ来ふ門ろ各う
 奇花を同じふもまきあき
 に園もそれぐや梅乃香
 玉まろれ九ろあ秘為く
 餘鳥ふよそてうけ字来門
 うまきまろ

うのどごり
三といぬ乃春



奉懸御寶前



とん
とん

[illegible]

うさやふふふ
いせやふふふ
いせやふふふ
いせやふふふ
いせやふふふ
いせやふふふ
いせやふふふ
いせやふふふ
いせやふふふ
いせやふふふ



藥石回春

右

五十五

てうじや晴て
雲ち見おふ天
ひのやみふ

五

一三丁

人智

卷八

美觀

卷之三

六

クモリ目付
丁の田女
多事の人
多事の人
多事の人

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	を	ん
あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	を	ん

あ い う え お

あ い う え お

あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	を	ん
あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	を	ん

あ い う え お

3

五言律詩

巴海子

人
人

巴水長流

三國志

家傳

子思子

卷之六

卷之四

五言古詩

卷之四

卷之八

卷之四

五
四
三
二
一

卷之四

卷之四

卷之四

卷五

人々

人々

江戸町をすく国中町を右六

右見屋を右多来

辰屋を右六

竹屋を右七所を清

松葉屋を半たき

松葉屋

深くゆ

初り

の

重

深

の

さみ

の

ま

の

重

深くゆ

そめ

深

み

初

の

深

い

さ

ま

重

い

す

う

まうすや 赤く清

小乃物や 深き清

かーうまや 大

本村や 市大の

くけや 彩ハ

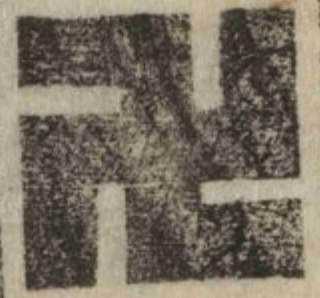
中しや 平太

花々金 くらぶ廊

古 今 古 丈

は い へ さん

万字の金市屋所



いこ
ま

八字うき

花々さと

あきさと

浦さと

いんさと

おのさと

あきさと

はきさと

くさと

あきさと

去 くさ
 決 けつ
 い い
 ま ま
 ち ち
 雲 うん
 死 し
 八 は
 去 く

へふくこと

尾張 

△三宅 みけ

△清 きよ

△小式 こしき

△こよ こよ

天満屋

△小 こ

△志 し

△こ こ

△小武 こぶ

△ふ ふ

尾張屋又右衛門

△巻 まき

△み み

△こ こ

△清 きよ

△小 こ

△こ こ

天満屋又右衛門

△こ こ

△む む

△長 なが

△比 ひ

△あ あ

△小 こ

△あ あ

△あ あ

うき

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

あは

ひさし

武蔵屋をたつ

花すち

花すち

花すち

花のす

花のす

小すち

小すち

花すち

花すち

西本屋

西本屋小丸

花のす

花のす

花のす

花のす

花のす

花のす

花のす

花のす



西田や又

家田や利

久く

うういり大

うゑいなり大明神

和

かつやぶ七

志之聖幼六

叶底
廣云漢

世に良

同
卷八

之味世之

江戶町志丁田中町至石見

或肉漬之

玉屋山之序



金
玉
修
德

今
花
紫

○
○
○

張氏

村

山
之
中
也

おのえ

五
花

漢苑

五
子

神子

仲と

社
家

除來

卷之五

卷之三

美

條

へ
う
の

今

七



新上總也利右馬

如左

加 立 勝 生 人 有 有

 加 立 勝 生 人 有 有
 加 立 勝 生 人 有 有

花のと
うめをく
ハをを
花に里
かこい
かこい
花にみ
うきま
うきま
うきま
うきま
うきま

七



大石寺也

入極中

學子

あきなり
うびぐり
△お 梶 うが
△また また
△人 ひと
△重 おも
△ し

わはははは
あけつる
ありやう
そとまき
うめあひ
あさのあ
おのまら
おのえ
かろはと
なまは
むねは

金重之

玉女

またのや
浅きぬ
あげろ
あはれ
かりみの

神ささ
むめえ
そのさ
とささ
わささ
いと
あさ
傑の
うさ

子
志



何ぞや、幼之者

あゝいと
むねのう
こころの
なりみ
とよま
まゆ

[illegible]

いづれの
とこより
雲しぬ
かうと云
さく川
雲うえ
わあよ
とやま
物うき
うけな
勝う
たこと
まのく
うはみ
そあよ
あふと
雲のみ
いとあ
花のみ
となす

かへて
かん
あひ
あふ
みよ
あふ
あふ



巴廬源古考

へいふふ
の
 へいふふ
の
 へいふふ
の
 へいふふ
の
 へいふふ
の
 へいふふ
の

へとやぬ
へあやう
あやう
たうゆ
いふ
こよ
いく
いふ
こよ
あやう
あやう
あやう

十
 九
 八
 七
 六
 五
 四
 三
 二
 一

古
法

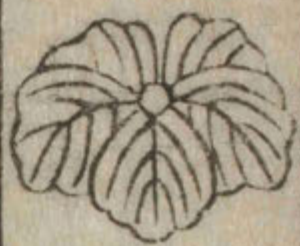


水 毎 日
 水 毎 日
 水 毎 日

能
萬字屋估女

八 清 子
 八 永 里
 八 之 氏 補
 八 初 子 家
 八 乙 子 家
 八 乙 子 家

漢子云
知子云
いす衣
衣子云
子云云



法也利右

[illegible]

花 子 子 子
 子 子 子 子
 子 子 子 子

[illegible]

一文字屋清兵衛

[illegible]

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百



江戸幕府

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

△あひ

兵部省

里

里

里

里

里



丁子金長十兩

[illegible]

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十

河内屋

大 尾 美 美 勝 美 美
大 尾 美 美 勝 美 美

大 尾 美 美 勝 美 美
大 尾 美 美 勝 美 美

河内屋 五 五 市

大 尾 美 美 勝 美 美
大 尾 美 美 勝 美 美

大 尾 美 美 勝 美 美
大 尾 美 美 勝 美 美

大 尾 美 美 勝 美 美
大 尾 美 美 勝 美 美

大 尾 美 美 勝 美 美
大 尾 美 美 勝 美 美

江戸屋

ゑをい
小をま
宮をち
もをう
もをう

江戸屋平たき

きい
きい
きい
きい
きい

き

江戸屋

江戸屋平たき

ゑをい
小をま
宮をち
もをう
もをう

きい
きい
きい
きい
きい

き

き



大さの屋あさ

あやめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ

あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ

あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ

あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ



山屋

あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ

あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ

あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ

あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ

あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ
あひめ

3

琴瑟

五

柱

い
た
る

十六

停暫登源石

此の玉や平うた

か
さ
ら

あ
め
ら

かきふく

[illegible]

五

何

二



つゝもや海女

すきやうのすきやうのすきやう

すきやうのすきやうのすきやう

木林

木林 木林 木林 木林 木林

木林 木林 木林 木林 木林

木林 木林 木林 木林 木林



木林 木林 木林 木林 木林

木林 木林 木林 木林 木林

木林 木林 木林 木林 木林



木林 木林 木林 木林 木林

木林 木林 木林 木林 木林



ものやむに
度紋 文考

いざや安き候

のりやえ八

山にやとく清



るえの
八えの
るえの
るえの
るえの
るえの
るえの
るえの
るえの
るえの

るえの
るえの
るえの
るえの
るえの
るえの
るえの
るえの
るえの
るえの

りそ
りそ
りそ
りそ
りそ
りそ
りそ
りそ
りそ
りそ

りそ
りそ
りそ
りそ
りそ
りそ
りそ
りそ
りそ
りそ

深き水に身をまかせ

大愚殿十右

(Faint handwritten Japanese calligraphy)

[illegible]

其大也

[illegible]

とくく
ふ代さぬい
うき
がふとの

すて
はる

家由屋

いろう
すう
ちう
たう
むてく

六 嘉田金佐治之墓

へそのおち
くちをい
ふとちを
いふとちを

[illegible]

てくも

萬古

サ
ミ

ゆき

あひや久き傍

うゑふや

小月為名

湯屋 八廿也

わ

いせや二

大海危不利有之



奇 奇 奇 深 奇 奇
 也 也 也 也 也 也

あゝのう
まゝの
まゝの
まゝの
まゝの
まゝの
まゝの
まゝの

(Faint handwritten cursive text)

九

丁卯

里之帝

大下
五
屋
古
古
古



みりし
くま
くま
くま
くま
くま
くま

[illegible]

五

うゑんや
かゝるやと
八

あ

すゝ町中ノ丁ありたりハ

長八

三ノ内
のり
しほ
おと
まへ
とく
とく
みち
あき
あき
あき

子

和衆也十之九

くさくさ
うきうき
そのうち
ふりふり
よひよひ

1854

志保をこ
志保をこ
玉あや
村をよ
むろの
志保をこ
志保をこ
志保をこ

和泉屋

山 志 乃
さうと
八 室 所
深 之 女
ま 川 山
林 山
弱 之 世
志 乃 山

さよ

和泉屋

あふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは



ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは

和泉屋

あふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは

中万字

あふは

あふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは
ふふは

あふは

3

之味也人

ハ其如修之来

孝行蘇李本

六



純

三

i

あや

美如

徳川
 家
 文
 書
 目
 録

家子記

之ヲ御

下

志
け

大所

知

のうん

卷之四

永代奉
為のきん
うのきん
かろふ
はたけ
あつた

才

今也市之

河之冬

子之

新
八
卷
五
史

てうち合義四所
大倉金久寺集
山口金久寺七

村田金久寺七
そり金久寺七
いり金久寺七

いり金久寺七

京町を丁内中より金久寺七

そり金久寺七

いり金久寺七

あきや金久寺七

うや

何あまうしを信

西ひるやきり

三味やんあさ

う

けいこ

伊勢屋

伊勢屋 甚女

さて

おん

さし

さし

さし

サ

若松

若松 茂子

り

あつ

み

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ

あつ



花 八重 菊 万 金 志
はな やぶき ぎく まん かね しのぶ

俵

物 衣 衣 衣 衣
もの ころも ころも ころも ころも

江戸 日本 花

花 八重 菊 万 金 志
はな やぶき ぎく まん かね しのぶ

俵 屋 江戸 花

物 衣 衣 衣 衣
もの ころも ころも ころも ころも

江戸 日本 花

江戸 日本 花

江戸 日本 花

江戸 日本 花



債和鈔券

李印之源七

小引也

尾張屋

木に
りや
物心
作

その先
しとて
ふ所を
あやう
くしに

三
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

事也六

い
き

ちぬやうき

大文字屋

大文字屋市之清

はるあき
がくあき
ハえあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき

あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき

あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき

富田屋

ふたごんやから七

あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき

あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき
あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あきあき

あまのうきとろ

またあまのうき

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

あまのうきとろ

かきふまはる

松本屋

松切金法考

小志
子
子
子

うゝやぬ
 ちうりかぬ
 えようきと
 りあむえ
 玉うと
 まのうと
 ころうと
 はとうし
 といのえ
 といふぬ

えようの
 うきと
 ひらさつ
 あも
 ちん

中
 ちん



下云
忠
義
者
凡

つれなき
あまのこ

あづき
うけ
むす
ま
うら
ハナ

[illegible]

永樂屋

永樂大典

3
 4
 5
 6
 7
 8
 9
 10
 11
 12
 13
 14
 15
 16
 17
 18
 19
 20
 21
 22
 23
 24
 25
 26
 27
 28
 29
 30
 31
 32
 33
 34
 35
 36
 37
 38
 39
 40
 41
 42
 43
 44
 45
 46
 47
 48
 49
 50
 51
 52
 53
 54
 55
 56
 57
 58
 59
 60
 61
 62
 63
 64
 65
 66
 67
 68
 69
 70
 71
 72
 73
 74
 75
 76
 77
 78
 79
 80
 81
 82
 83
 84
 85
 86
 87
 88
 89
 90
 91
 92
 93
 94
 95
 96
 97
 98
 99
 100
 101
 102
 103
 104
 105
 106
 107
 108
 109
 110
 111
 112
 113
 114
 115
 116
 117
 118
 119
 120
 121
 122
 123
 124
 125
 126
 127
 128
 129
 130
 131
 132
 133
 134
 135
 136
 137
 138
 139
 140
 141
 142
 143
 144
 145
 146
 147
 148
 149
 150
 151
 152
 153
 154
 155
 156
 157
 158
 159
 160
 161
 162
 163
 164
 165
 166
 167
 168
 169
 170
 171
 172
 173
 174
 175
 176
 177
 178
 179
 180
 181
 182
 183
 184
 185
 186
 187
 188
 189
 190
 191
 192
 193
 194
 195
 196
 197
 198
 199
 200
 201
 202
 203
 204
 205
 206
 207
 208
 209
 210
 211
 212
 213
 214
 215
 216
 217
 218
 219
 220
 221
 222
 223
 224
 225
 226
 227
 228
 229
 230
 231
 232
 233
 234
 235
 236
 237
 238
 239
 240
 241
 242
 243
 244
 245
 246
 247
 248
 249
 250
 251
 252
 253
 254
 255
 256
 257
 258
 259
 260
 261
 262
 263
 264
 265
 266
 267
 268
 269
 270
 271
 272
 273
 274
 275
 276
 277
 278
 279
 280
 281
 282
 283
 284
 285
 286
 287
 288
 289
 290
 291
 292
 293
 294
 295
 296
 297
 298
 299
 300
 301
 302
 303
 304
 305
 306
 307
 308
 309
 310
 311
 312
 313
 314
 315
 316
 317
 318
 319
 320
 321
 322
 323
 324
 325
 326
 327
 328
 329
 330
 331
 332
 333
 334
 335
 336
 337
 338
 339
 340
 341
 342
 343
 344
 345
 346
 347
 348
 349
 350
 351
 352
 353
 354
 355
 356
 357
 358
 359
 360
 361
 362
 363
 364
 365
 366
 367
 368
 369
 370
 371
 372
 373
 374
 375
 376
 377
 378
 379
 380
 381
 382
 383
 384
 385
 386
 387
 388
 389
 390
 391
 392
 393
 394
 395
 396
 397
 398
 399
 400
 401
 402
 403
 404
 405
 406
 407
 408
 409
 410
 411
 412
 413
 414
 415
 416
 417
 418
 419
 420
 421
 422
 423
 424
 425
 426
 427
 428
 429
 430
 431
 432
 433
 434
 435
 436
 437
 438
 439
 440
 441
 442
 443
 444
 445
 446
 447
 448
 449
 450
 451
 452
 453
 454
 455
 456
 457
 458
 459
 460
 461
 462
 463
 464
 465
 466
 467
 468
 469
 470
 471
 472
 473
 474
 475
 476
 477
 478
 479
 480
 481
 482
 483
 484
 485
 486
 487
 488
 489
 490
 491
 492
 493
 494
 495
 496
 497
 498
 499
 500
 501
 502
 503
 504
 505
 506
 507
 508
 509
 510
 511
 512
 513
 514
 515
 516
 517
 518
 519
 520
 521
 522
 523
 524
 525
 526
 527

かきくけこ
さすそ
しすし
はひふへほ
まみむめも

かきくけこ
かきくけこ
かきくけこ

やゆよ
とろ

天
下
之
心

[illegible]

牛馬の力
 ともかく
 うしろ
 のは
 つの

中村屋

京さん
まき
まき
まき
まき
まき

去
去
去
去
去

あまのうへに
いよのうへに
うゑのうへに
そよのうへに
ちのうへに
そのうへに

六
相
登
去
市

あふく衣
さもけり
すれは
つれなき
はまきち
ひき
しん

や
け

ふしうの
そよう
くそ
ゆき
清う
梅のみ
そのひ
そのひ
あつた
いと

至のい
ソのい
けさく
万さく
丁さく
万さく
うさく
うさく
うさく

中村成清之書

八くそ

二

お中々お花

月 法七

くあまのりまふちう

正一位松田輪高大明神

のほろあまなつ

ととひあまなつ

六次海老屋字之清



あまのりまふちう
くあまのりまふちう
のほろあまなつ
ととひあまなつ

あまのりまふちう
くあまのりまふちう
のほろあまなつ
ととひあまなつ

あまのりまふちう
くあまのりまふちう
のほろあまなつ
ととひあまなつ

岡本屋

六次海老屋字之清

あまのりまふちう
くあまのりまふちう
のほろあまなつ
ととひあまなつ

あまのりまふちう
くあまのりまふちう
のほろあまなつ
ととひあまなつ

あまのりまふちう
くあまのりまふちう
のほろあまなつ
ととひあまなつ



るるの
かた
表け
うて
二の
まう

春 七 子
日 月



かりとて
 いさよ
 むと
 福の

金匱要略

[Handwritten Japanese calligraphy]

大正十一年

32

[illegible]

かゝるもの

か
そのい
い

か
そのい
い



か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い

越前屋

か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い

越前屋

か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い

越前屋

か
そのい
い

か
そのい
い

か
そのい
い



へ へ へ へ へ へ へ
 る け る け る け る け

 る け る け る け る け
 る け る け る け る け

小中やあてい

ひとあ
 け
 の女
 清

へ へ へ へ へ へ へ
 る け る け る け る け

 る け る け る け る け
 る け る け る け る け

か

くまうう

中



へ へ へ へ へ へ へ
 る け る け る け る け

 る け る け る け る け
 る け る け る け る け

あ
 け
 の女
 清

七

あ

七 しち しち しち
 寒 かん かん かん
 雪 ゆき ゆき ゆき
 雨 あめ あめ あめ

山本

山 やま
 本 もと
 山 やま
 本 もと
 山 やま
 本 もと

山 やま やま やま
 本 もと もと もと
 山 やま やま やま
 本 もと もと もと

子屋

子 こ
 屋 や
 子 こ
 屋 や
 子 こ
 屋 や

子 こ こ こ
 屋 や や や
 子 こ こ こ
 屋 や や や

山 やま やま やま
 本 もと もと もと
 山 やま やま やま
 本 もと もと もと

山 やま やま やま
 本 もと もと もと
 山 やま やま やま
 本 もと もと もと

山 やま やま やま
 本 もと もと もと
 山 やま やま やま
 本 もと もと もと

あき

お乃

は田主全

竹平妻と主人

まぐさ

忌村文吉

若王

川根素丸

いし

おしといちん

正月夜半

おしといちん

あき

おしといちん

正一位九郎助 稻荷大明神

京所

山城屋

へそ へあ へあ へあ へあ
 中 中 中 中 中
 中 中 中 中 中

山城屋の長

へそ へあ へあ へあ へあ
 中 中 中 中 中
 中 中 中 中 中

へそ へあ へあ へあ へあ
 中 中 中 中 中
 中 中 中 中 中

へそ へあ へあ へあ へあ
 中 中 中 中 中
 中 中 中 中 中

長

長崎屋平太夫

へんかひつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ

へんかひつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ

サ
カ
シ

×

木村や五郎八



み
ろ
や
か
ん
と
き

サ
カ
シ

へんかひつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ

へんかひつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ
るゝかゝりつゝあはれ

サ
カ
シ

朝日如來安置

満

六
ま
や
安
た
ま
の

うしと
ふき
ふき
せいさん

合 合 合 合 合
 合 合 合 合 合
 合 合 合 合 合
 合 合 合 合 合

[illegible]

かふやふい

谷 村 山 谷 山 谷 山 谷 山 谷 山 谷
 谷 村 山 谷 山 谷 山 谷 山 谷 山 谷
 谷 村 山 谷 山 谷 山 谷 山 谷 山 谷
 谷 村 山 谷 山 谷 山 谷 山 谷 山 谷

秋うゝ
 春の晴
 おーのと
 ちやよ
 るあふ
 村と怒
 浪のと
 るとあ
 ちといと
 せとのと
 ちとち
 あと浦
 ちとみ
 あとた
 るとち

へあとの
むさうの
そまら
またの丹
そこよ
たふし
はるぬ衣
かきしら
ひつと
せ

すそ

いせや久を清

うきを久を清

あやうを清

あやうを清

あやうを清

あやうを清

あやうを清

あやうを清

あやうを清

あやうを清

あやうを清

あやうを清

あやうを清

伏見町中ノ下

あやうを清

あやうを清

あやうを清

きんぐはく

えきしん いふき
尾張屋はく
さくら屋はく
きんぐ屋はく

きんぐ屋はく

きんぐ屋はく

福屋はく

福屋はく

福屋はく

福屋はく

福屋はく



福屋はく

福屋はく

つや

嘉川や依去

あつての
さよとぬ
たさうし

さよとぬ
そふとぬ

市
市
市



今
とむ

ハ
あ
あ
あ

あ
あ

その

その
の
の

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

あ
あ
あ

とほきく

つろひ

やうや ちんちん

つろひ
つろひ
つろひ

うき

つろひ

あやや 幼い

あやや
あやや
あやや
あやや
あやや

あやや
あやや
あやや
あやや



てりや 依る

休見町中ノ丁るなふ

えいや 角

けいや 長

けいや 長

あやの 半

ぬけ

あやの 半

あやの 半

あやの 半

あやの 半

あやの 半

あやの 半

いふあやの 半

以取印所之

以坡皮爲八

けふの
さうか
うこと
このえ
そのひ
そめい
海女

女
子

大々々

大君也者矣

清之

金初金

[illegible]

中
年



中國金石記

卷之五

人好之

へ花月
 へ玉子
 へ玉子
 へ玉子

七



かきくけこ

[illegible]

みちいね
ふくこ女
ふくこ女
ふくこ女

牛
子

—い甲かひが物へいふ心—

若木屋

ソのあ屋らハ

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

あ

丁子屋

てしやちち

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

いせの

あや

あやちん

あやちん
あやちん
あやちん

あやちん
あやちん
あやちん

いせや

いせや
いせや
いせや

いせや
いせや
いせや

いせや
いせや
いせや

いせや

いせや
いせや
いせや

いせや
いせや
いせや

いせや
いせや
いせや

市井屋

市井屋
市井屋
市井屋

いせや
いせや
いせや

いせや
いせや
いせや

富士

富士
富士
富士

いせや
いせや
いせや

いせや
いせや
いせや

萬字名













































萬字也市廛業

[illegible]

八
子
也

い 孫 子 也

へとよる
へふふふ
へふふふ
へふふふ

五
 三
 二
 一



名地甲為首云

聖人

さうと
おとえ
おとえ
おとえ

サウて
ふふふ

かきんる

わさ

何あさや新ハ

へきや
へきや
へきや
へきや

へきや
へきや
へきや
へきや

やうて

田本屋

わいふやう吉

いせ
いせ
いせ
いせ

いせ
いせ
いせ
いせ

いせ

村田屋

村田屋

やうて

うき
うき
うき
うき

うき
うき
うき
うき

やうて

そのや

そのや

うき
うき
うき
うき

うき
うき
うき
うき

やうて

うき

いふより二丁あがりの都

いふより二丁あがりの都

ふひやうんち

そのまやうに

いふやうに

ふやうに

はふやうに

あ

ふやうに

ふやうに

ふやうに

ふやうに

いふより二丁あがりの都

ふやうに

あ

ふやうに

あ

ふやうに

ふやうに

ふやうに

ふやうに

ふやうに

ふやうに

いふより二丁あがりの都

いふより二丁あがりの都

いぬしとて何ぞ

つり○ 玉屋久之清

ふの井 みう よりよ
せんや うきもの

つり○ けうやきく女

金よ衣 きんころも
きよ衣 きれとら

つり○ おうや金沢の所

おれとめ よりより
梅うえ きんころも

つり○ ちひや海老の所

きよ衣 きんころも
きよ衣 きんころも

つり○ か屋金十の所

きんころも きんころも
い 梅うえ きんころも

つり○ 山に屋とる束

きんころも きんころも
きんころも きんころも
きんころも きんころも

つやの

はちやそふき

はいし

清き

とよき

つやの

とろがや清き

ふし

清き

とよき

つやの

ちや田やまき

とよき

いせの

とよの

つやの

ふき

みよ

清き

とて

清き

つる子 三川 全治 満

うーの
さきさき
あけう
ほろろか
くろく
そとろ

名をいんさよ

ゆきりうまうと

是か説阿部中下合元六

ういやほか

てるうい

石門 体うい

うま 西ひう 佐き

惣五股 其外合印

本 九十目

格子 六十目

目録

大正二年一月廿八日

新改每宿榜より云々

家之有

むろや

卷之六

りてのやあちう

坂田也平子

之移也

乃乃也值之

子心相告之

大和堂

己卯分
牙側今
戶銘之

富平や大平

子思子之

阿因女孫

家なう

卷七

三

卷之五

卷之四

名を傳ふ

大のやう

之勝也

夫

わたりやう

五十六

松子やかたき

5

あき

人市

かきつね
りきつね
りきつね

のり

のり

よりのやけえ

えつや

あしやけえ

えつや

あしやけえ

えつや

あしやけえ

えつや

あしやけえ

えつや

あしやけえ

えつや

あしやけえ

えつや

あしやけえ

えつや

あしやけえ

えつや

あしやけえ

えつや

此 細見 賣所 新吉原木屋 中五郎
改正 浅州御寺内 伊勢方屋 吉十郎

明和三丙年毎月大改板

110X
668
154
40

明和三年五月九日

